



「強い丸紅」の追求へITインフラ整備 アプリケーション仮想化で安全性と利便性を向上

海外利用含む7000人のアクセス想定した業務基盤を構築

背景

「強い丸紅」の追求に向けたITインフラ整備の一環として、アプリケーション仮想化技術を活用。海外を含む出張先や私物PCでも社員が業務を遂行できるようにリモート業務環境のセキュリティを抜本的に強化したいと考えた。



丸紅株式会社
情報企画部
ITサービス推進課長
橋高 弘一郎氏



丸紅株式会社
情報企画部
ITサービス推進課
田辺 幸輔氏
※所属は当時のもの

ソリューション

「Citrix XenApp」による新たな業務基盤を構築し、電子メールやOfficeソフトなどを社外から安全に利用できるようにする。同製品の知見・実績が豊富な新日鉄住金ソリューションズの支援により短期間で構築を完了させた。

成果

電子メールからの情報漏洩リスクへ対処するとともに、社内ファイルサーバーへ社外からアクセス可能にするなど利便性を向上させた。今後は個人所有のスマートフォンやタブレットによるBYOD（私物端末の業務利用）を実現していく。

リモート業務環境の抜本的なセキュリティ強化を検討

「強い丸紅」の追求に向けて事業拡大とITインフラの整備を進める総合商社の丸紅。電子メールシステムとしてクラウドサービスのOffice 365を導入するなど、いつでも・どこでも・どの端末でも社員が業務を遂行できるリモート業務環境の整備を進めている。

同社がアプリケーション仮想化技術によるリモート業務環境のセキュリティ強化を検討したのは2013年4月ごろである。Office 365は社外から利用できる便利なサービスだが、添付ファイルを表示・編集する際にPCへファイルを保存するため、万一の場合は情報が漏洩するリスクがある。アプリケーション仮想化技術を活用すれば、データセンターのサーバー上で電子メールの添付ファイルを表示・編集し、PCに画面情報のみを転送する安全な業務基盤を構築できるようになる。

NSSOLの支援でCitrix XenAppを短期導入

丸紅は、2013年8月に計画していたグループ企業へのOffice 365の展開に合わせて、この業務基盤を短期間で構築したいと考えた。そこで、導入実績や対応クライアントの種類の豊富さを基に「Citrix XenApp（以下、XenApp）」を採用。仮想デスクトップソリューション「M³DaaS@absonne」を提供し、同製品に関する知見や実績が豊富な新日鉄住金ソリューションズ（以下、NSSOL）をITパートナーに選定して構築を開始する。

構築プロジェクトは2013年6月にスタートした。NSSOLはXenAppをはじめ、Windows Serverなどの関連製品に詳しいエンジニアをプロジェクトメンバーにそろえるとともに、丸紅の担当者と綿密なミーティングを実施。同社の要望にきめ細かく対応しながら、予定通り2013年8月下旬に構築を完了させた。

海外出張先からもセキュアにアクセスでき、利便性も向上

XenAppを使ったこの業務基盤によって、丸紅はリモート業務環境の情報漏洩リスクへ抜本的に対処することができた。同社は、社内ファイルサーバーへ社外からアクセスできる機能も用意するなど利便性も向上させている。添付ファイルを社内ファイルサーバーとやり取りすることで、営業担当者などが、海外を含む出張先や自宅でもセキュリティを確保しながら幅広い業務でPCを活用できるようになった。

同社は今後、PCに加えて、個人所有のスマートフォンやタブレットを安全に活用できる本格的なBYODの実現も視野に入れ、XenApp環境で利用できるアプリケーションを順次拡充していく。これにより、業務の生産性を上げ、社員がワークライフバランスを保ちながら、より戦略的な業務へシフトできるようにする計画である。

Key to Success

丸紅がXenAppを使って新たな業務基盤を構築した背景は、リモート業務環境のセキュリティを強化し、社員が幅広い時間・場所・端末から電子メールなどの情報システムを利用可能にすることである。

情報企画部 ITサービス推進課長の橋高弘一郎氏は「当社社員は出張も多く、電子メールとしてクラウドサービスのOffice 365を早くから活用していますが、PCからの情報漏洩リスクへの対処が課題になっていました。Office 365にはWebブラウザからアクセスしますが、添付ファイルを表示・編集する際、PCにファイルをダウンロードするためです。そこでグループ企業へのOffice 365展開計画が具体化したのに合わせ、アプリケーション仮想化技術を活用して、リモート業務環境のセキュリティを抜本的に強化したいと考えました」と語る。

検討の結果、丸紅はアプリケーション仮想化製品としてXenAppを、ITパートナーにNSSOLを選定する。

情報企画部 ITサービス推進課の田辺幸輔氏は「NSSOLへITインフラ構築をお願いするのは初めてでしたが、担当者にコンタクトしたとき、最も迅速に対応してもらえました。XenAppに関する知見や実績も豊富で不安は全く感じませんでした」と振り返る。

構築プロジェクトが始まってからは、NSSOLのエンジニアの層の厚さを実感したという。

「必要な場面で適切なスペシャリストの支援が受けられます。XenAppと当社のActive Directoryとの連携やNetScalerの導入などでは、それぞれ専門のエンジニアが迅速に対応しまし

た」と田辺氏は語る。

橋高氏は、NSSOLの対応の柔軟性を評価する。

「どんなシステム構築プロジェクトでも、コアとなる製品の導入作業のほかに、既存環境との連携や関連製品の導入といった周辺作業が発生します。今回のプロジェクトでは、コアとなるXenAppの導入に加えて、周辺作業までをNSSOLへ包括的に任せることができ、こちらが手を煩わせる必要はありませんでした」

NSSOLへ包括的に構築を任せ2カ月強で新たな業務基盤が完成

構築プロジェクトではミーティングも綿密に行われた。

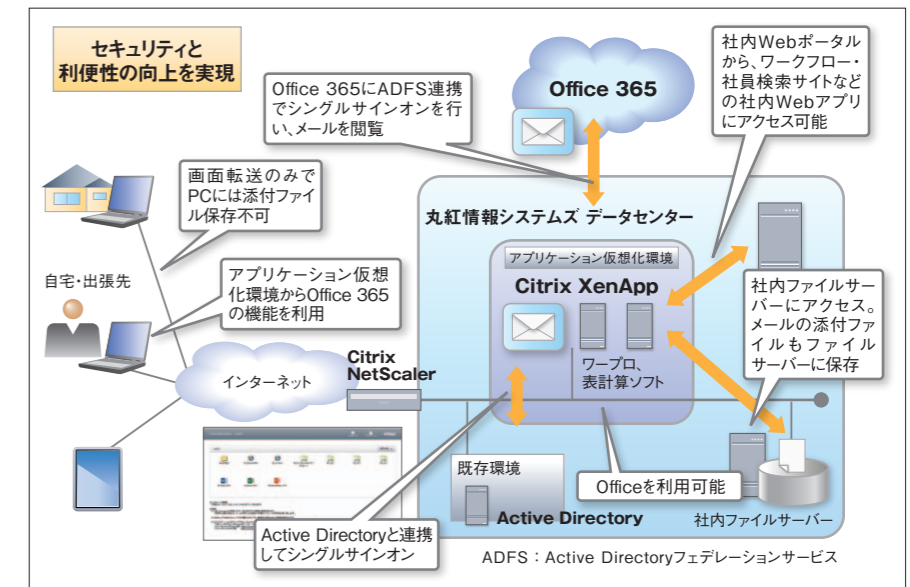
田辺氏は「NSSOLの各メンバーが、ミーティングで問題を細部まで粘り強

く洗い出し、解決策を決定したことで、手戻りの少ない短期間でのシステム構築につながりました」と述べる。

新たな業務基盤は、国内を中心とする社員4000人強が活用しており、将来は海外・グループ会社を含む7000人規模のアクセスを想定している。

「電子メールの情報漏洩対策強化に加えて、外出先から社内のファイルサーバーへセキュアにアクセスできるようにするなど利便性も向上させました。特に営業部門の担当者は、海外と日本をつなぐ仕事で出張が多いのですが、空港やホテルといった場所でも、安心してスムーズに仕事ができるようになり、自分の時間が多くとれるようになったと、ワークスタイルの変化を実感しています。今後は、スマートフォンやタブレットのBYODを視野に入れて、この業務基盤で利用できるアプリケーションを増やしていきたいと考えています」と橋高氏は述べる。

丸紅が導入したアプリケーション仮想化環境の概要



コアテクノロジー

アプリケーション仮想化、クラウドサービス、Active Directoryフェデレーションサービス

システム概要

- サーバー：Citrix XenApp
- クラウドサービス：Office 365
- ネットワーク：Citrix NetScaler